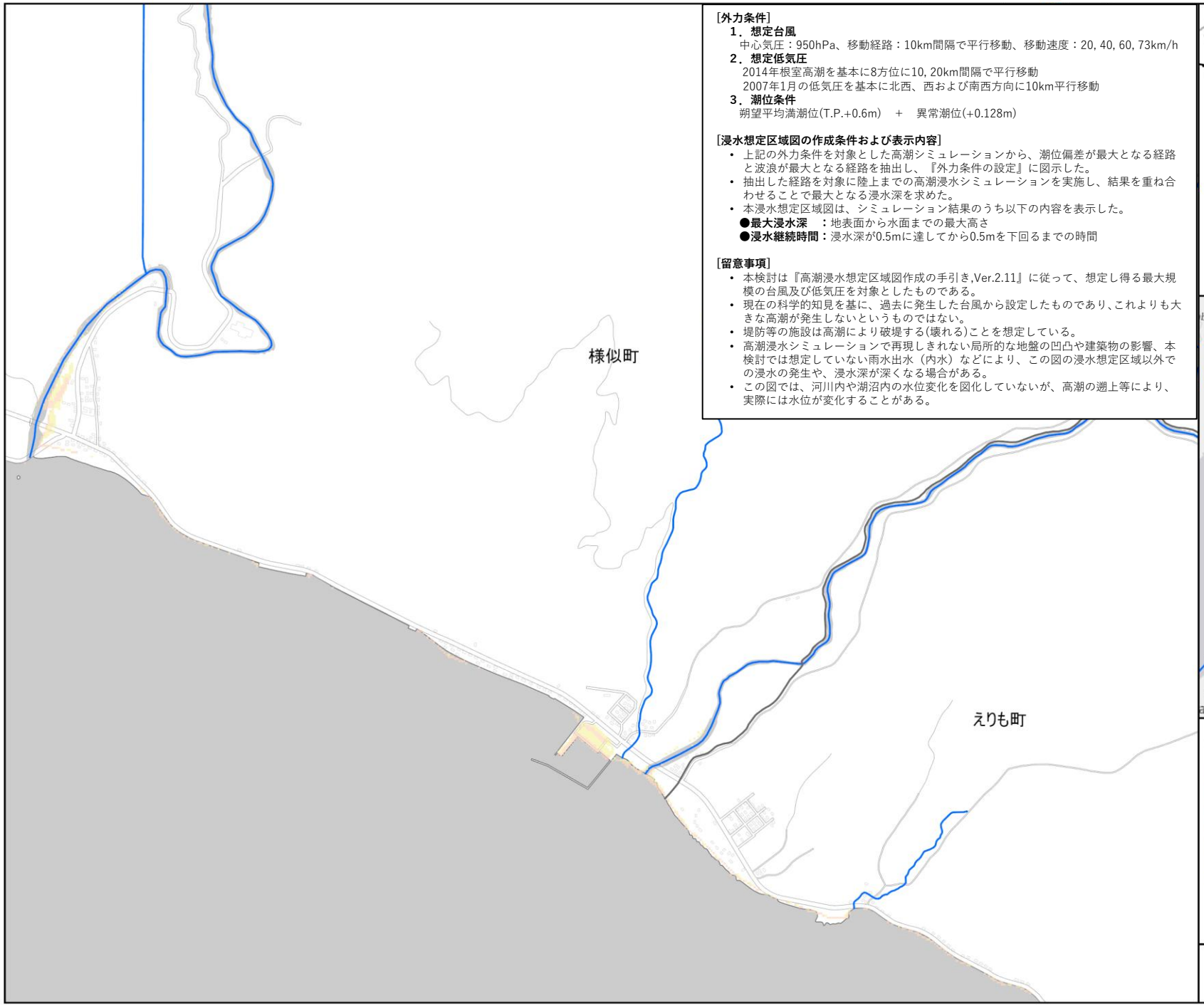
高潮浸水想定区域図（浸水深）【様似町 1/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

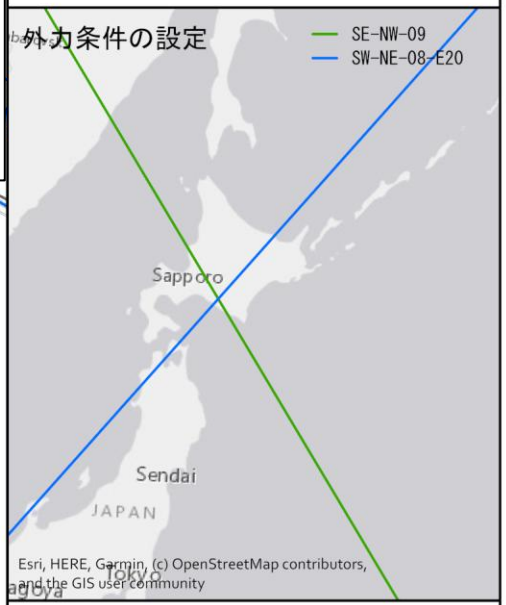
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

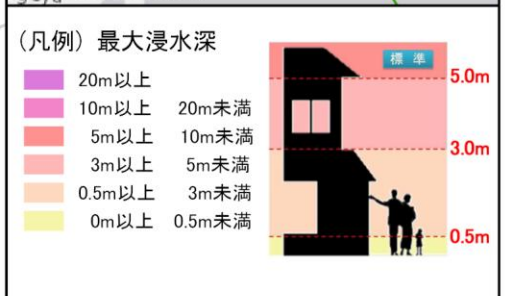
●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ

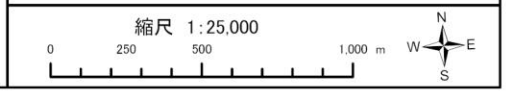
●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

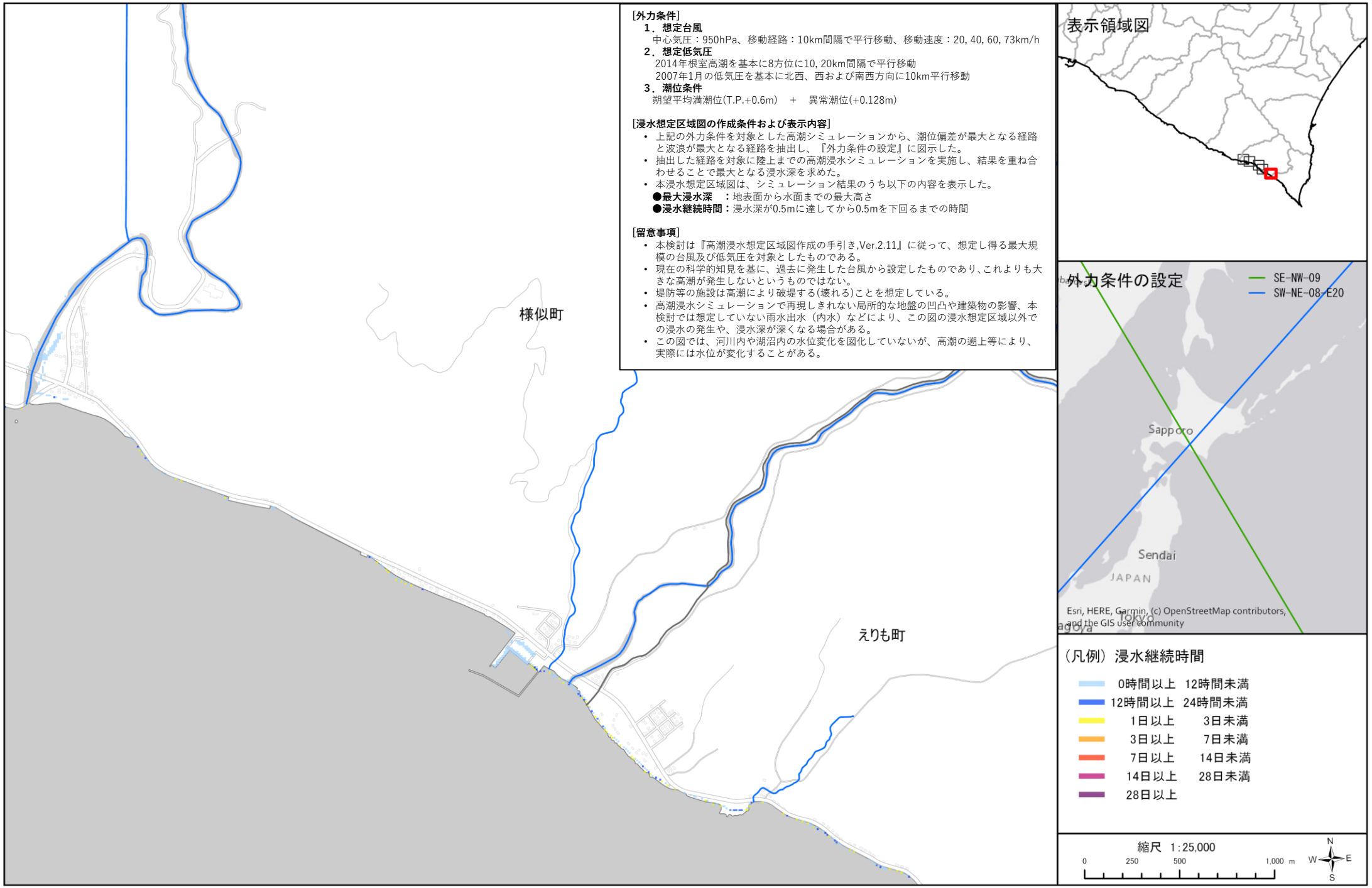






「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【様似町 1/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) ＋ 異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

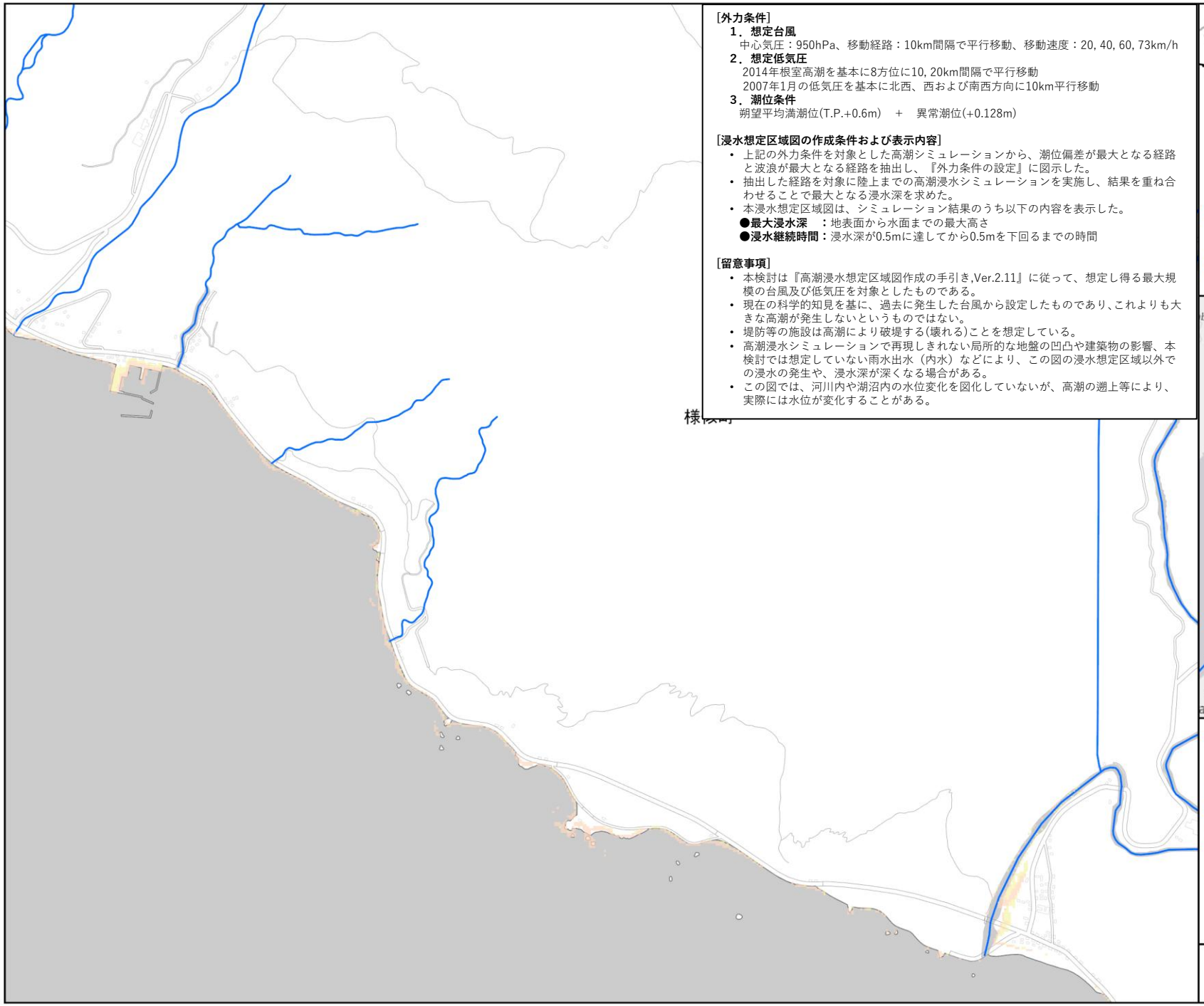
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  ●最大浸水深 ：地表面から水面までの最大高さ
  ●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

「測地成果2011」 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」 令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水深）【様似町 2/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

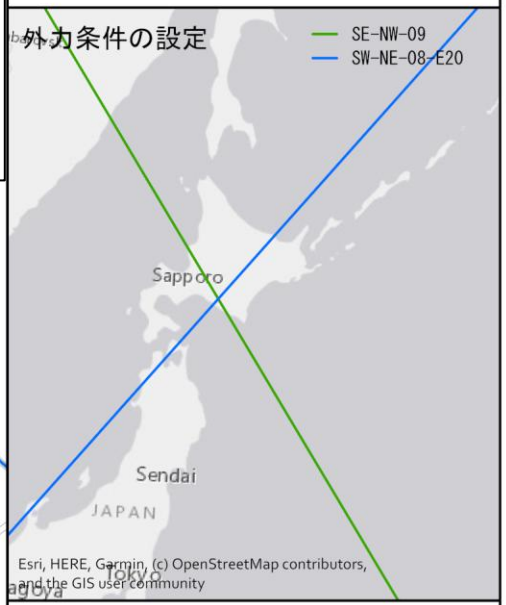
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

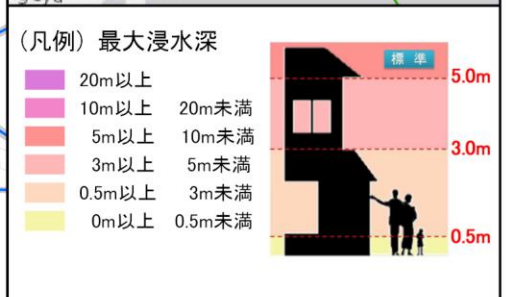
●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ

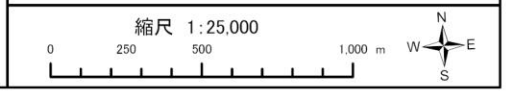
●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

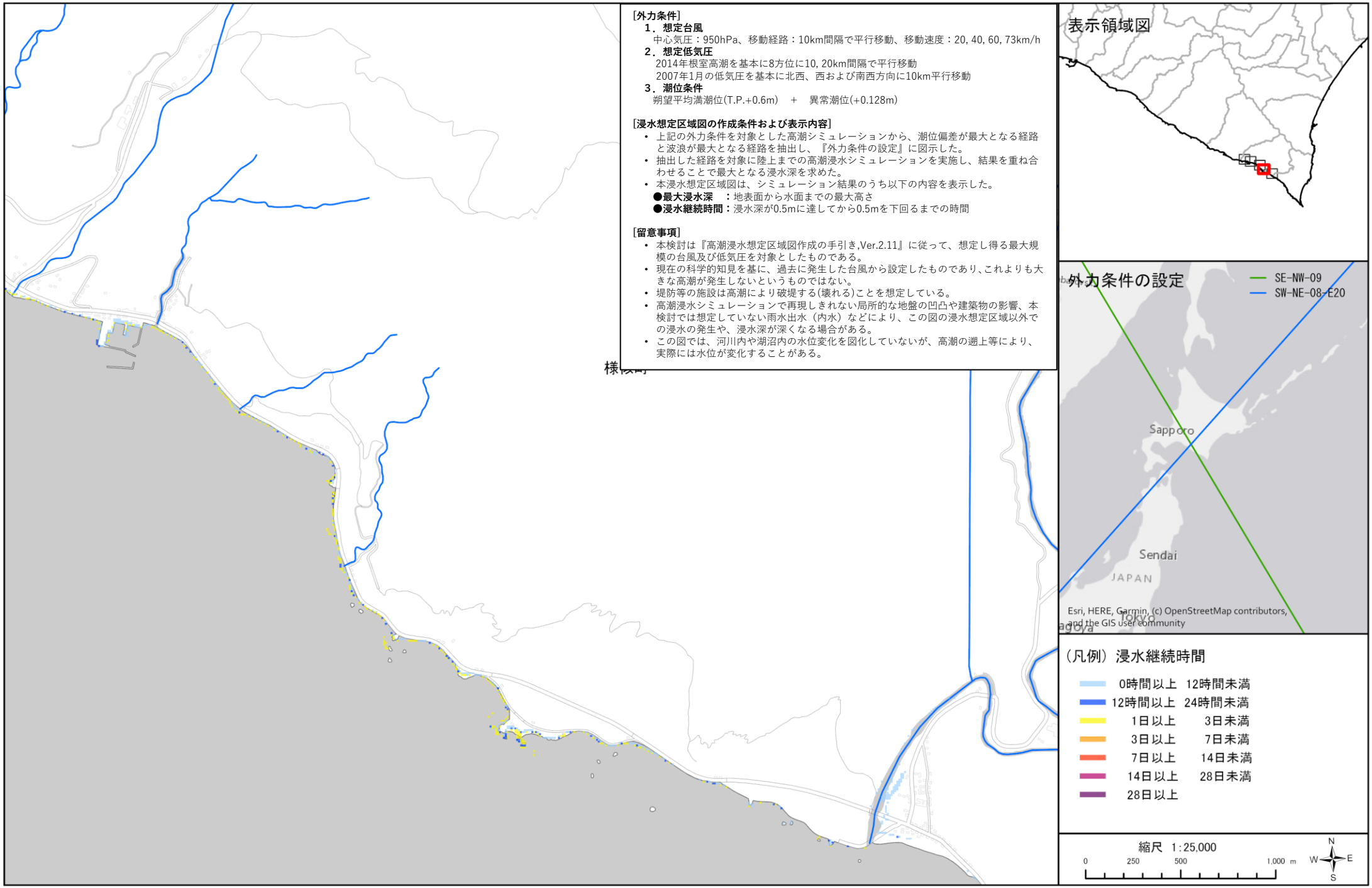






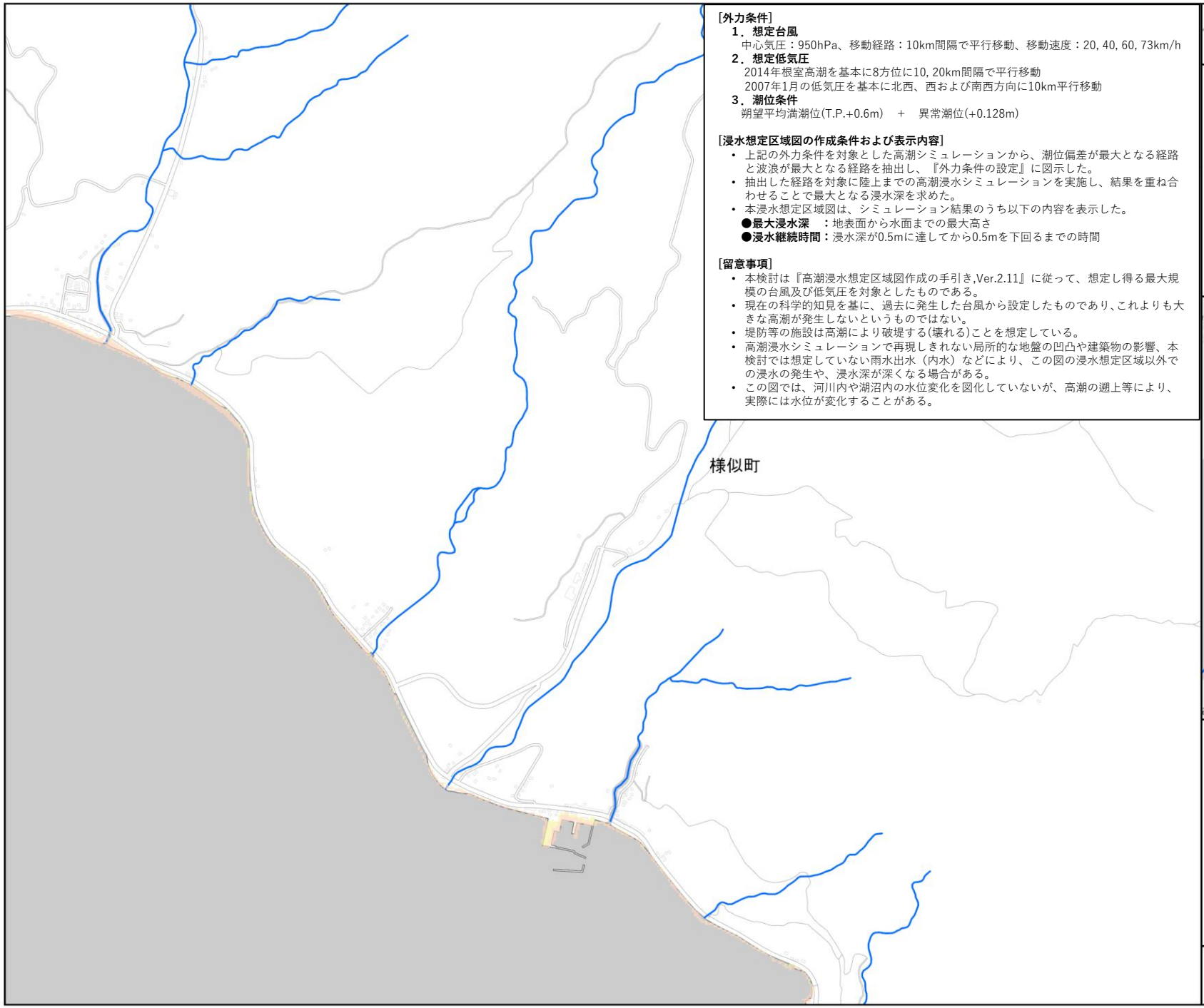
「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【様似町 2/ 5 】



「測地成果2011」 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」 令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水深）【様似町 3/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

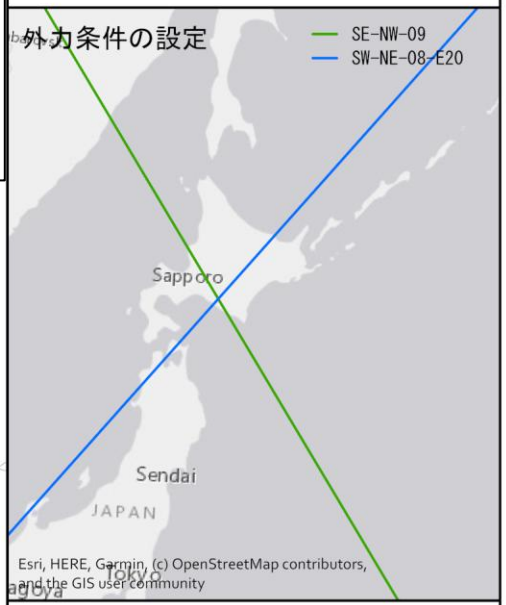
3．潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  ●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ
  ●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

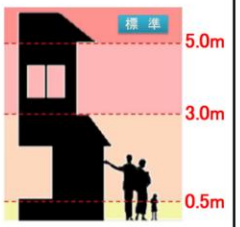
[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



（凡例）最大浸水深

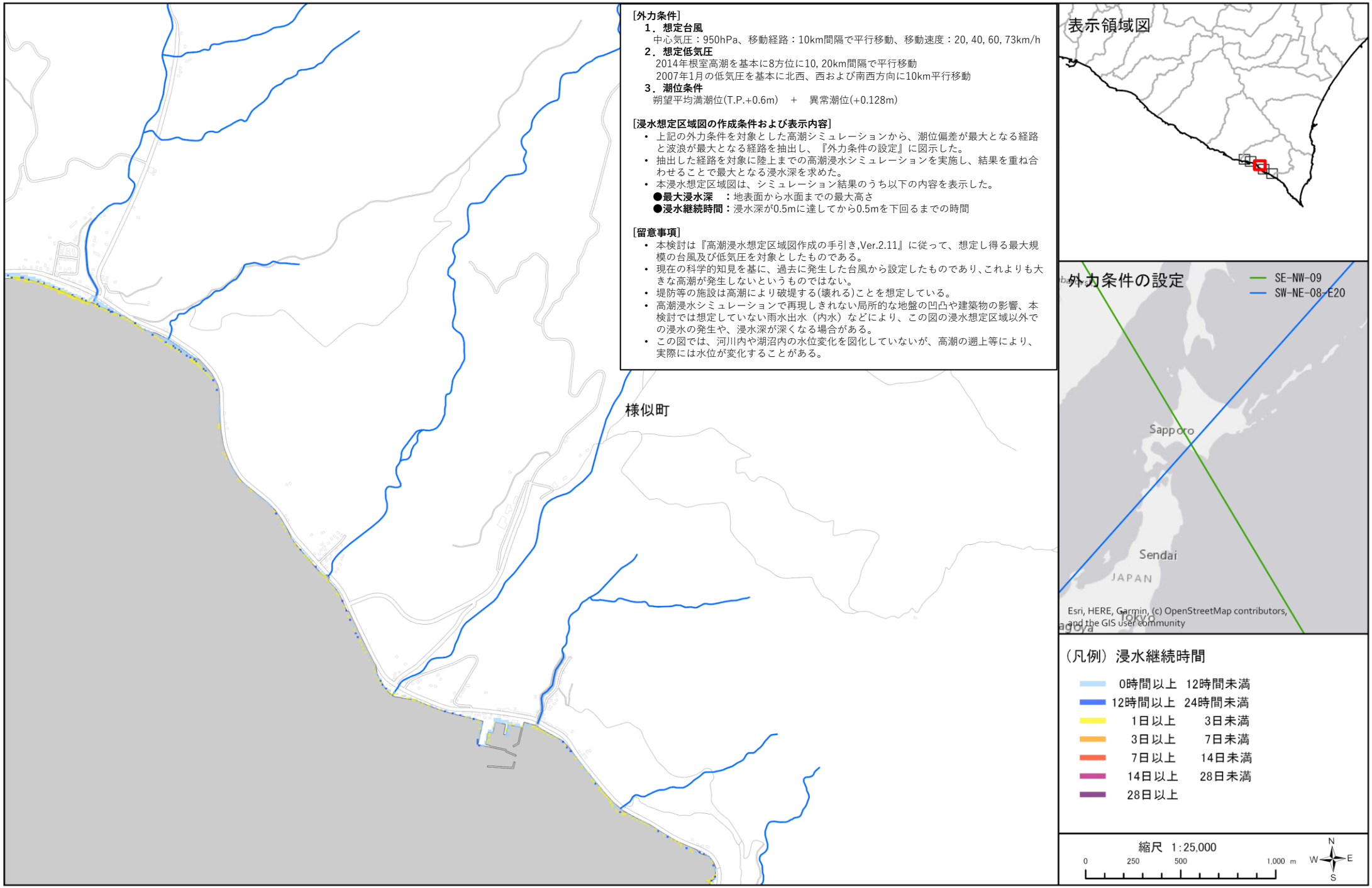
20m以上	
10m以上	20m未満
5m以上	10m未満
3m以上	5m未満
0.5m以上	3m未満
0m以上	0.5m未満



縮尺　1:25,000
0　250　500　1,000 m
N
W　E
S

「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【様似町 3/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

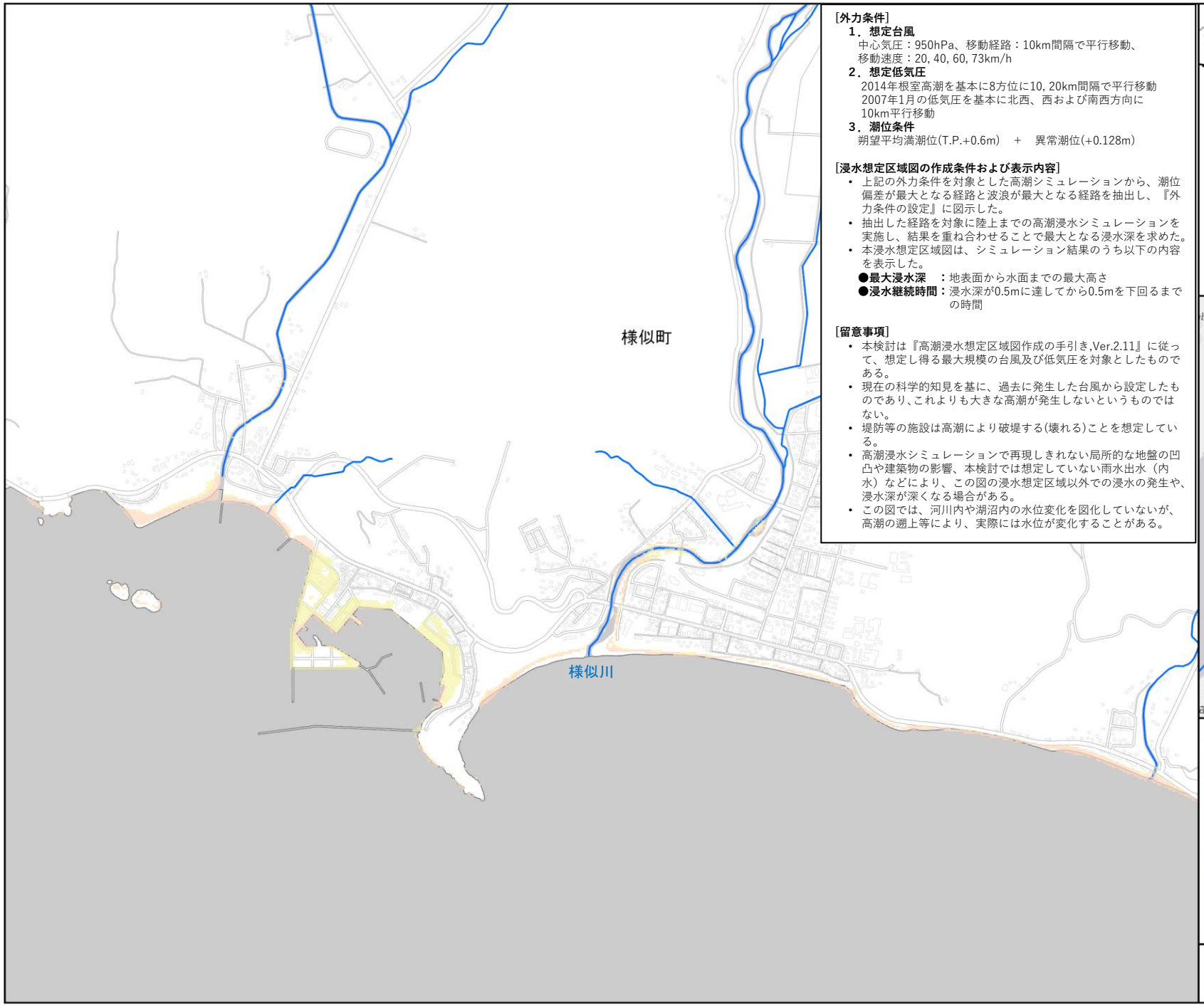
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

（凡例）浸水継続時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	

「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水深）【様似町 4/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に
10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

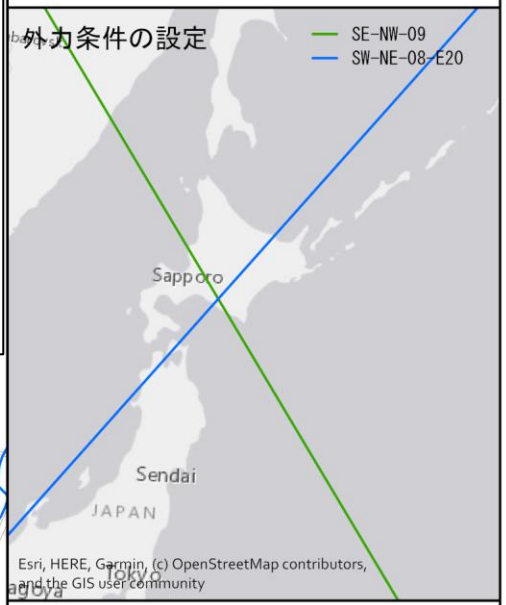
[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ
●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

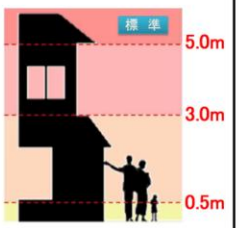
[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり､これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



（凡例）最大浸水深

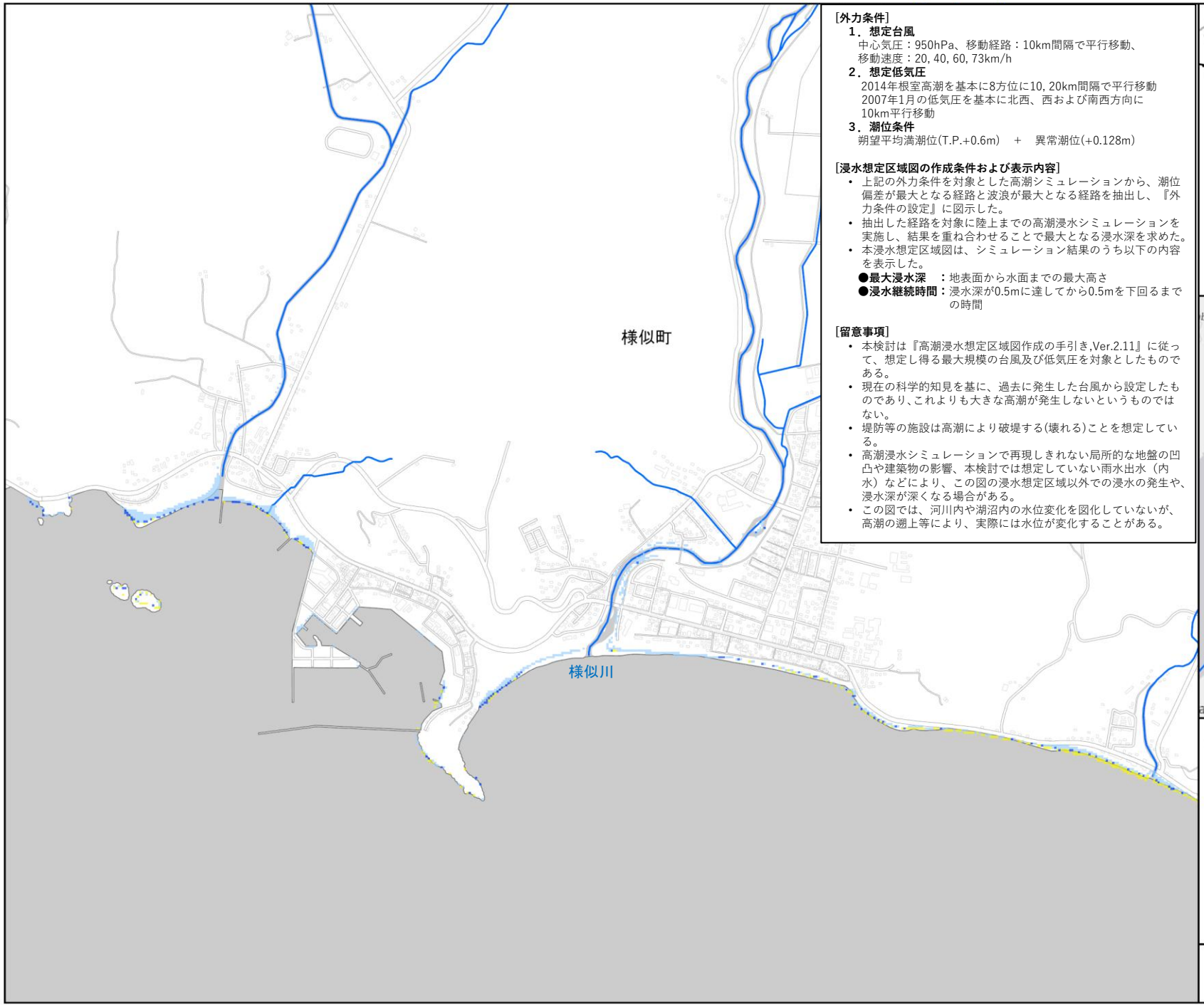
20m以上		
10m以上	20m未満	
5m以上	10m未満	
3m以上	5m未満	
0.5m以上	3m未満	
0m以上	0.5m未満	



縮尺　1：25,000
0　250　500　1,000 m
N　W　E　S

「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【様似町 4/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に
10km平行移動

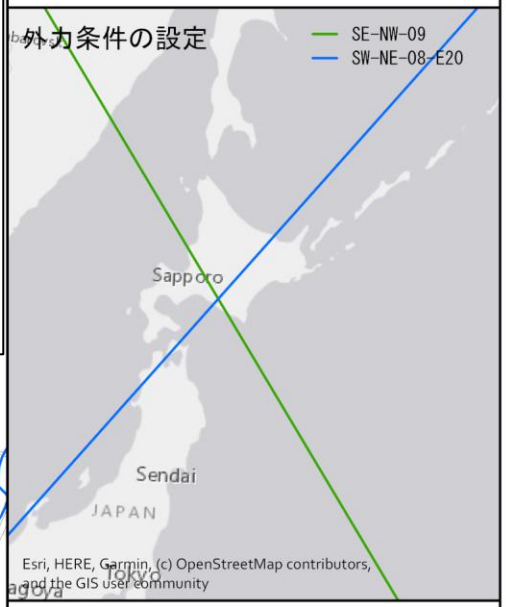
3．潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
  ●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ
  ●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

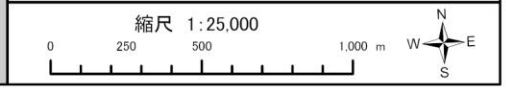
[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり､これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



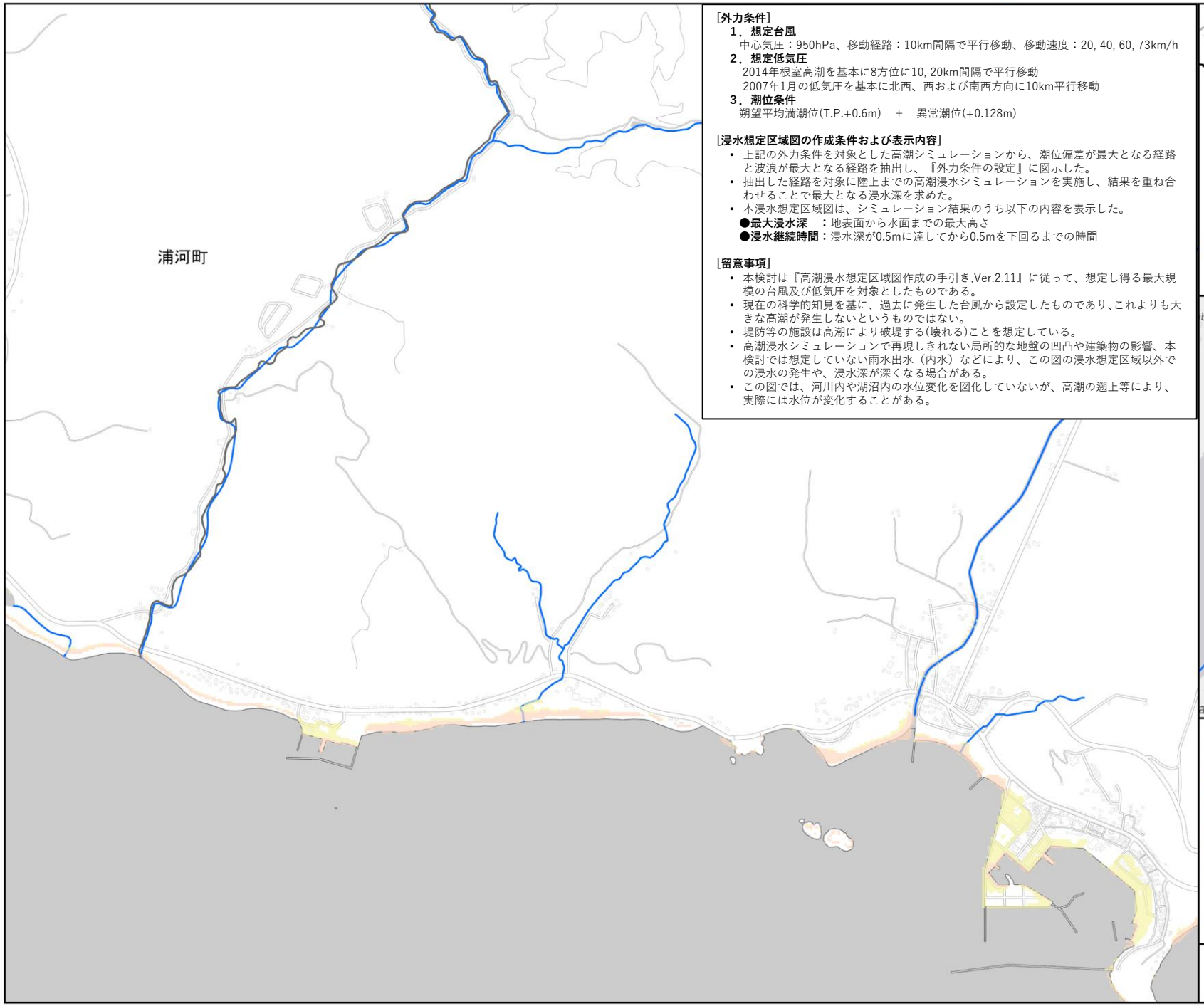
（凡例）浸水継続時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	



「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水深）【様似町 5/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

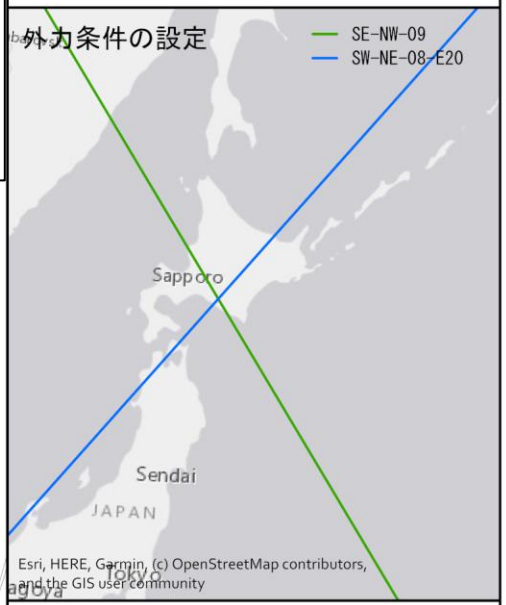
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

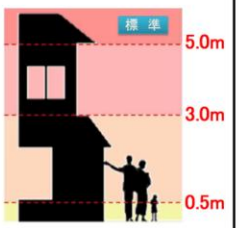
[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



（凡例）最大浸水深

20m以上	
10m以上	20m未満
5m以上	10m未満
3m以上	5m未満
0.5m以上	3m未満
0m以上	0.5m未満



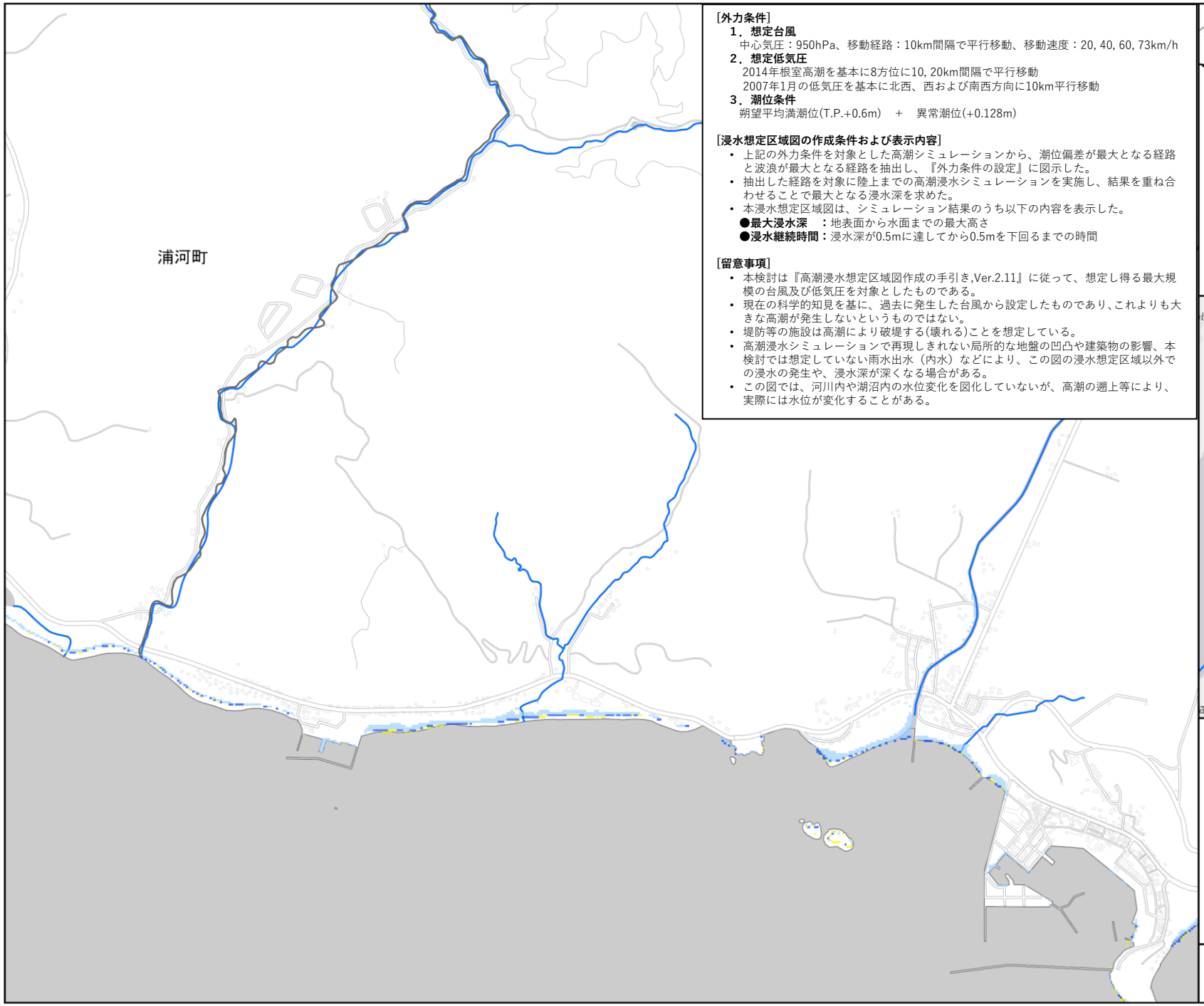
縮尺　1:25,000

0　250　500　1,000 m

N　W　E　S

「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）　【様似町 5/ 5 】



[外力条件]

1．想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2．想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動

3．潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m)　＋　異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

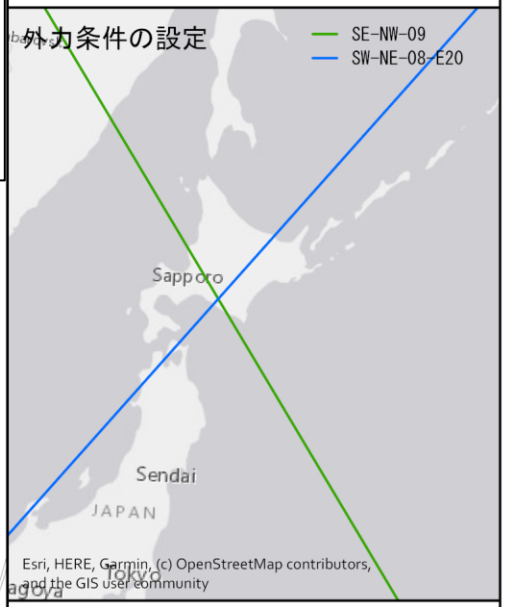
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

●最大浸水深　：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



（凡例）浸水継続時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	

縮尺　1:25,000

0　250　500　1,000 m

N　W　E　S

「測地成果2011」　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6JHs557」　令和7年5月作成